

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成20年度採択）

中間評価結果

| 番号 | 研究課題名 | 研究代表者 | 評価 |
|------|-----------------------------------|---------------------|----|
| 20-3 | 自転車等の中速グリーンモードに配慮した道路空間構成技術に関する研究 | 徳島大学大学院 教授 山中 英生 | B |

<研究の概要>

都市交通のグリーン化を促進するため、我が国における自転車等の中速型グリーンモードの役割を明確にし、それを支える道路空間システム（空間構成、ルール、情報提供）を構成する技術体系構築のため、共存性・情報伝達性の視点から新しい道路交通政策および道路空間構成のあり方を研究する。

<中間評価結果>

個別の研究計画について順調な進捗状況であると認められ、今後の行政の検討への活用に向けて、研究成果の総合化、体系化を図りつつ、指摘事項に留意しながら、現行のとおり研究を推進することが妥当である。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

1. 今後の中速グリーンモードの展開に向けて、制度比較や自転車レーンの工学的特性などの調査に限定せず、各国における自転車に関する基本的な理念や自転車の取り扱いがどのようになっているのか、多层次的に整理するよう取り組んでいただきたい。
2. 大都市や中規模都市における自動車の代替交通手段や、過疎地等における高齢者などの交通弱者の唯一の自律的交通手段等の捉え方によって、政策インプリケーションが異なるため、中速グリーンモードを導入する地域の適性や条件を明らかにするとともに、地形、気候を考慮して、どのような理念で整備を進めたらよいかを提案いただきたい。
3. 20km/h以下の電気自動車等との関係を、都市と中山間地域での区別等から検討していただきたい。
4. 「速い自転車」と「遅い自転車」の区分の考え方や、それぞれへの対応方針などを明確化して、道路空間構成に関する指針を整理するようしていただきたい。